

第53期 報告書

2014年4月1日 ~ 2015年3月31日

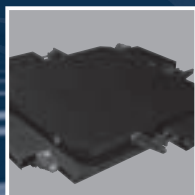
HEPHAIST®

それは価値を創造する個性ある集団です。

ヒーハイト精工株式会社

証券コード：6433

当社は、1962年（昭和37年）の設立以来、リニアボールブッシュの専門メーカーとして、常に新しいテクノロジーを追求し、多様化するニーズに応えるべき技術力と創造力により高品質・高付加価値製品を提供して参りました。これからも長年蓄積した固有技術を活かし、事業の柱となるリニアボールブッシュなどの直動機器、精密部品加工及びポジショニングステージなどのユニット製品の3つの事業領域を中心に新たな分野へ挑戦し、企業価値の拡大を目指して参ります。



直動機器

円筒直動軸受製品
直動軸受応用製品及びユニット
球面軸受等

精密部品加工

レース用部品加工
精密部品加工等

ユニット製品

XYθステージ
Zチルトステージ
XYθZステージ
多軸ステージ
その他システム製品

目次

事業概要	1	株式の状況	6
株主・投資家の皆様へ	2	会社の概要	6
連結財務諸表（要旨）	3	第53期定時株主総会に関するご報告	...
TOPICS	5	株主メモ	...



第54期経営方針

『次善を求めて最善を尽くす UTB注力』

代表取締役社長 尾崎浩太

皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第53期報告書をお届けするにあたり、平素のご支援を深く感謝し、ご挨拶申し上げます。

当連結会計年度における世界経済は、米国では個人消費の増加、雇用情勢の改善などを背景に緩やかな拡大基調が続く、欧州でも緩やかな回復が続きました。一方、中国では成長率の鈍化が見られ、先行き不透明な状況となっております。わが国経済におきましては、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動が見られたものの、日銀の金融政策や政府の各種政策の効果により円安株高が進行し、景気は緩やかながらも回復基調で推移しました。

このような状況のもと、当社グループは、営業・技術・製造の三位一体体制で顧客ニーズに応えた製品の市場投入と販売の強化及び生産性の向上に努めて参りました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は精密部品加工の売上が増加しましたが、主力製品の直動機器の売上が減少し1,412,087千円（前連結会計年度比8.5%減）となりました。利益面につきましては、主力製品の直動機器の売上減少があったものの、原価低減が図られたこと等により、経常利益は24,796千円（前連結会計年度は経常利益432千円）、当期純利益は6,919千円（前連結会計年度は当期純損失4,994千円）となりました。

主力製品であります直動機器につきましては、民生向けに販売を進めましたが、産業用機械業界等からの受注が落ち込み、当連結会計年度の売上高は1,007,909千円（前連結会計年度比19.6%減）となりました。

精密部品加工につきましては、レース用部品の売上が増加し、売上高は293,927千円（前連結会計年度比75.5%増）となりました。

ユニット製品につきましては、電子部品業界及びスマートフォン等の液晶製造装置向けの標準品の販売を進め、売上高は110,251千円（前連結会計年度比9.4%減）となりました。

次期の見通しにつきましては、世界経済は、米国では堅調な景気回復が予想されますが、欧州の混乱が長引くことが懸念されます。中国では、以前の勢いは見られないまでも引き続き経済成長すると予想されます。わが国経済におきましては、消費税増税による需要の減少は落ち着き、円安基調や株価上昇等を背景に、緩やかな回復が続くものと思われれます。

次期の連結業績見通しにつきましては、売上高1,565百万円（前期比10.9%増）、営業利益53百万円、経常利益49百万円、親会社株主に帰属する当期純利益40百万円を見込んでおります。

当社グループの業績は主要市場である産業用機械業界、電子部品業界及び自動車関連業界等の国内・海外における設備投資の動向に大きく影響を受けております。

当社グループは、このような事業環境の中で、受注確保を第一の課題と認識し、顧客満足度の向上のため、営業・技術・製造の三位一体体制の更なる強化による顧客対応力の向上、QCDの追求による製品力の向上、固定費・変動費の削減等を強力に推し進め、業績の早期回復及び経営基盤の強化に努めて参ります。

重点方針は以下のとおりであります。

- ① 生産能力増強とコストダウンによる採算性向上
- ② QCDの徹底追求による顧客対応力の強化
- ③ 海外販売展開の構築・強化
- ④ 顧客ニーズに適合した応用製品の開発と販売
- ⑤ 主力製品リニアボールブッシュの競争力強化による拡販

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つと認識し、将来の事業展開と経営体制の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、配当を行うことを基本方針としております。

しかしながら、当事業年度につきましては、業績の向上に鋭意努めてまいりましたが、当事業年度の業績を勘案いたしまして、誠に遺憾ながら無配といたしました。

株主の皆様には、誠に申し訳ありませんが、何卒事情ご理解のうえ、ご了承賜りますようお願い申し上げます。引き続き業績の回復に全社をあげて対処し、早期に復配できますよう努力してまいります。

株主・投資家の皆様には、一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2015年6月

連結財務諸表 (要旨)

連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	53期 平成27年3月31日	52期 (ご参考) 平成26年3月31日	科 目	53期 平成27年3月31日	52期 (ご参考) 平成26年3月31日
資産の部			負債の部		
流動資産	2,190,835	2,087,095	流動負債	595,002	450,445
現金及び預金	811,812	760,119	支払手形及び買掛金	200,156	201,390
受取手形及び売掛金	267,573	602,787	電子記録債務	78,695	40,768
電子記録債権	182,341	12,920	短期借入金	90,000	-
商品及び製品	303,599	188,801	1年内返済予定の長期借入金	123,468	124,956
仕掛品	357,196	265,527	未払法人税等	17,000	7,000
原材料及び貯蔵品	233,227	221,524	その他	85,681	76,330
その他	35,085	35,416	固定負債	596,318	685,777
固定資産	2,000,818	2,039,342	長期借入金	404,723	506,367
有形固定資産	1,921,500	1,970,302	役員退職慰労引当金	74,511	65,261
建物及び構築物	670,326	712,270	退職給付に係る負債	62,043	57,924
機械装置及び運搬具	99,337	106,330	その他	55,039	56,224
工具、器具及び備品	14,756	20,763	負債合計	1,191,320	1,136,222
土地	1,063,504	1,063,504	純資産の部		
その他	73,575	67,433	株主資本	2,987,773	2,980,920
無形固定資産	2,841	4,070	資本金	717,495	717,495
投資その他の資産	76,476	64,970	資本剰余金	664,455	664,455
			利益剰余金	1,606,072	1,599,153
			自己株式	△ 249	△ 183
			その他の包括利益累計額	12,560	9,294
			純資産合計	3,000,334	2,990,215
資産合計	4,191,654	4,126,438	負債純資産合計	4,191,654	4,126,438

連結貸借対照表のポイント

資産の部

たな卸資産は前期と比べ218,171千円増加しました。
設備投資の総額は45,219千円となりました。

負債の部

仕入債務は前期と比べ36,693千円増加しました。

純資産の部

利益剰余金は前期と比べ6,919千円増加し、また、円安により
為替換算調整勘定が2,649千円増加しました。

連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	53期	52期(ご参考)
	平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで	平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで
売上高	1,412,087	1,543,486
売上原価	997,820	1,148,128
売上総利益	414,266	395,358
販売費及び一般管理費	416,398	398,996
営業損失(△)	△ 2,131	△ 3,638
営業外収益	33,610	12,239
営業外費用	6,682	8,168
経常利益	24,796	432
特別利益	370	2,348
特別損失	36	200
税金等調整前当期純利益	25,130	2,580
法人税、住民税及び事業税	15,387	2,439
法人税等調整額	2,823	5,135
当期純利益又は当期純損失(△)	6,919	△ 4,994

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	53期	52期(ご参考)
	平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで	平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー①	108,043	114,484
投資活動によるキャッシュ・フロー②	△ 31,127	64,095
財務活動によるキャッシュ・フロー③	△ 26,628	△ 70,861
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,405	2,834
現金及び現金同等物の増減額	51,693	110,552
現金及び現金同等物の期首残高	760,119	649,566
現金及び現金同等物の期末残高	811,812	760,119

連結損益計算書のポイント

販売費及び一般管理費の研究開発費は17,726千円となりました。営業外収益に円安により為替差益18,137千円を計上しました。

連結キャッシュ・フロー計算書のポイント

- ① たな卸資産の増加により資金が減少しています。
- ② 有形固定資産の取得により資金が減少しています。
- ③ 長期借入金の返済により資金が減少しています。

連結株主資本等変動計算書のポイント

純資産の増加は、利益剰余金の増加によるものです。

連結株主資本等変動計算書

(単位：千円)

53期 平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計
当期首残高	717,495	664,455	1,599,153	△ 183	2,980,920
会計方針の変更による 累積的影響額					—
会計方針の変更を 反映した当期首残高	717,495	664,455	1,599,153	△ 183	2,980,920
当期変動額					
当期純利益			6,919		6,919
自己株式の取得				△ 66	△ 66
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	6,919	△ 66	6,853
当期末残高	717,495	664,455	1,606,072	△ 249	2,987,773

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	367	8,927	9,294	2,990,215
会計方針の変更による 累積的影響額				—
会計方針の変更を 反映した当期首残高	367	8,927	9,294	2,990,215
当期変動額				
当期純利益				6,919
自己株式の取得				△ 66
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	616	2,649	3,265	3,265
当期変動額合計	616	2,649	3,265	10,118
当期末残高	983	11,576	12,560	3,000,334

LBO

メガバス株式会社のルアーに搭載されている新可動ウエイトシステム(特許出願中)「LBO」(Linear Bearing Oscillator)に当社の技術が採用されました。



シーバス用



ヒラメ用



キャスト時、少ない摩擦係数でウエイトが高速移動する為、運動エネルギーを瞬時にルアーに伝達。

力強い弾道性能を発揮する強大なキャストインパクトを発揮。

LBO非搭載のルアーと比べて約20%飛距離UP。

新製品情報

UTBシリーズ

次世代型リニアボールブッシュUTB (Utility Track Ball) シリーズに
スリムタイプラインアップ!

【特長】

- 製品設計と製造工程を見直し低価格化を実現
- 軸剛性を保ちながら外径サイズダウン実現により省スペース、軽量化に対応
※従来のスベリ軸受のみ搭載可能であった限られたスペース内にも転がり軸受の搭載が可能

◆ 今後もUTBシリーズのラインアップを順次拡大し様々なニーズに対応 ◆

※ラインアップ予定

- ・軸径：#3～#25
- ・外径：標準、スリム
- ・全長：ショート、標準、ミドル、ロング



【UTB05NS (外径スリム)】

軸径Φ5 外径Φ8

【UTB05】

軸径Φ5 外径Φ10



株式の状況

株式の状況 (2015年3月31日現在)

会社が発行する株式の総数 …………… 18,720,000株

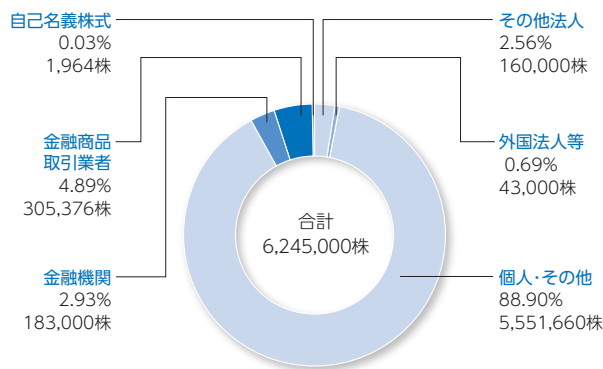
発行済株式の総数 …………… 6,245,000株

大株主 (2015年3月31日現在)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
尾崎 浩太	1,123	17.98
尾崎 文彦	1,021	16.34
尾崎 久壽彌	694	11.12
日本証券金融株式会社	183	2.93
榊原 潤	118	1.88
株式会社SBI証券	84	1.34
ヒーハイト精工社員持株会	59	0.94
松井証券株式会社	56	0.89
THK株式会社	50	0.80
夏 澄彦	40	0.64

持株比率は自己株式 (1,964株) を控除せずに計算しております。

所有者別株式数 (2015年3月31日現在)



会社の概要

会社の概要 (2015年3月31日現在)

社 名 …… ヒーハイト精工株式会社

本 社 …… 〒350-1151
埼玉県川越市今福580番地1

埼玉工場 …… 〒350-1151
埼玉県川越市今福580番地1
[敷地面積16,677㎡ 建物面積7,589㎡]
TEL 049-273-7000 (代表)
FAX 049-273-7001

秋田工場 …… 〒010-1653
秋田県秋田市豊岩小山字下田454番地
(豊岩工業団地内)
[敷地面積36,292㎡ 建物面積4,525㎡]
TEL 018-828-0111
FAX 018-828-2231

海 外 …… 赫菲(上海)軸承商貿有限公司
〒200050
中華人民共和国上海市長寧区延安西路
889号 太平洋中心11楼1132室
赫菲(上海)軸承商貿有限公司 蘇州分公司
〒215009
江蘇省蘇州市高新区火炬路12号内

設 立 …… 1962年 (昭和37年) 7月19日

資 本 金 …… 717,495,000円

従 業 員 …… 76人

役員 (2015年6月25日現在)

代表取締役社長	尾崎 浩太
専務取締役	尾崎 文彦
常務取締役	福留 弘人
取締役	天野 雅人
常勤監査役	荒井 寿晃
監査役	上條 弘
監査役	菅野 浩正

執行役員 菜花 有三

執行役員 佐々木 宏行

※取締役天野雅人は社外取締役、監査役上條弘、菅野浩正は社外監査役です。

第53期定時株主総会に関するご報告

平成27年6月25日開催の第53期定時株主総会における報告内容報告及び決議内容は、下記のとおりです。

記

報告事項

第53期（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）事業報告、連結計算書類及び計算書類の内容並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件

本件は、上記の内容を報告いたしました。

決議事項

第1号議案 定款一部変更の件

本件は、原案どおり承認可決されました。

第2号議案 取締役1名選任の件

本件は、原案どおり取締役天野雅人氏が選任され、就任いたしました。

第3号議案 監査役2名選任の件

本件は、原案どおり監査役に荒井寿晃氏、菅野浩正氏が選任され、それぞれ就任いたしました。

第4号議案 退任監査役に対する退職慰労金贈呈の件

本件は、原案どおり退任監査役村田伊織氏に対し、当社における一定の基準に従い相当額の範囲内で退職慰労金を贈呈することとし、その具体的金額、贈呈の時期、方法等は、監査役の協議に一任することが承認可決されました。

以上

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日 (中間配当を行う場合、毎年9月30日)
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
電話	0120-232-711 (フリーダイヤル)
上場金融証券取引所	東京証券取引所 (JASDAQスタンダード市場)
公告の方法	電子公告の方法により行う。
公告掲載URL	http://www.hephaist.co.jp (ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店で支払いいたします。

※ 本誌には、ヒーハイト精工の将来に関連する記述があります。この前提及び将来予測の記述には、経営を取り巻く環境の変化などによる一定のリスクと不確実性が含まれていることにご留意ください。